

特集

働くお母さんの 妊娠・出産・母乳育児を支援する

働く母親を支援する専門職の役割と、
女性にやさしい職場づくりの必要性 中林正雄

働く女性が妊娠出産後も
働き続けられる職場づくりを 奥村伸人

働く妊婦を支援するために役立つ知識 百枝幹雄

妊娠期の保健指導上の留意点
何を聞いてどうアドバイスするか 石川紀子

働くお母さんへの母乳指導をどうする？
産休明けのお母さん、育休明けのお母さん 真木めい子

『ルポ職場流産』を書いて
働く女性を取り巻く現実 小林美希

Topics

種子島周産期フォーラム 高山千史

連載

いのちをつなぐひとたち 4 斉藤麻紀子さん
いのちのささやき 16 宮崎雅子

女性骨盤底再入門 いま知っておきたいこと 6 中田真木

バルナバクリニック発 ぶつぶつ通信 96 富田江里子

Mother へのまなざし 4 宮崎雅子

編集後記

●産科医の負担軽減と助産師の自立をめざして開設された、ローリスク妊産婦を対象とする助産外来や院内助産ですが、臨床では周産期医療がめざしている方向と状況が一致していないようです。それは女性の初産年齢の上昇や、不妊治療の場は患者の高齢化が急速に進んでいるなど、さまざまな要因でハイリスクの妊産婦と新生児が増えているからです。中村論文「切迫早産で入院中の妊婦へのアンケート報告」では、入院中の妊産婦の本音が紹介されています。まずはハイリスクの妊産婦に寄り添うケアに生かしてほしいと思いました。(綿貫)

●この冬は久しぶりに厳しい寒さです。雪も降ったので慣れない雪面をよろよろと歩き、その雪はいつまでも路肩に残ったままです。そんな震えるような寒さのなかうかがった取材先で聞いた話は、詳しくは割愛しますが“自分さえよければいいと思う人もいる”という話。身も心も凍って帰ってきたのでした。今号のりれー随筆に「人と触れ合うことで、温かい気持ちになれるこの仕事が好き」とありますが、小さなリスクも多いこの世の中で、妊婦さんにとって助産師さんが心の支えになっているのはすてきだなと思います。(竹内)

助産雑誌

第66巻 第3号 2012年3月25日発行 毎月1回発行

発行：株式会社医学書院

代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2012, Printed in Japan

1部定価：1,365円(本体1,300円＋税5%)

2012年々々め予約購読料(消費税・配送料弊社負担)：

冊子版 15,600円

冊子＋電子版/個人 18,600円 冊子＋電子版/共有 21,000円

電子版/個人 15,600円 電子版/共有 18,000円

編集室：☎ 03-3817-5773 FAX 03-5804-0485

電子メール josan@igaku-shoin.co.jp 担当 竹内／綿貫／伊藤

販売部販売課：☎ 03-3817-5657

医学書院ホームページ：http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。